

日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
 区政レポート
 2011.7.28.No.1001

ご相談はお気軽に
 TEL/FAX とも **3905-0970**
 さがらとしこ事務所
 赤羽北3-23-17
 (バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)
 日本共産党議員団
 区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.ne.jp/~kyouukita/>

「1000号 おめでとう、よくつぎきましたね」
 「西口で毎週ごくろうさま……」

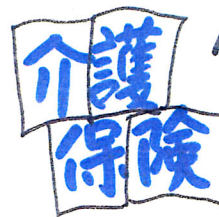
- 7月26日(火)朝の赤羽馬前西口で、何人もの方から、あたたかい声をかけていただきました。
- 5年ほど、ほぼ欠かさず配布を手伝ってくださる赤羽団地のMさん。「きょうは、受け取りがよくて、よかったですね」とにこやかに。また、昨年からは毎週来下さるのは桐ヶ丘団地のUさん。
- 17年間ずっと協力して下さっているHさんは、1922年生まれで89歳。「10分でも、15分でもお手伝いしたいの。西口のみなさんにお会いできるのが楽しみ」と。実はHさんの馬前デビューは、「そねさんの時からよ」とのこと。あらためて、そのエネルギーに脱帽です。

● 折込み作業や宅配などなど、
 多くの方々に支えていただいていた「1000号」
 ありがとうございます。これからもよろしく。

都蒙 8月1日から申込書配布
 営集 ●今回は特別に、5月分と8月分とが
 いっしょに申し込みます。(ファミリー・単身
 どちらもあり)

ご相談 8/1(月) 10:00
 さがら事務所へどうぞ
 TEL・FAX 3905-0970

北区の緊急通報システムを利用しましょう。
 高齢者のみなさん、次号でお知らせします。



震災の最中に、民・自・公・みんなの党が
 軽度(要援)の方をはずす改悪を強行
 ●今号では、そねはじめ前都議の「レポート」をご紹介します。



日本共産党
そねはじめレポート
 2011年 7月27日発行 第 38 号

そねはじめ事務所
 114-0012
 北区中十条2-11-6
 Tel: 3907-1135
 Fax: 3906-3225

国の介護保険改悪を北区は実施すべきでない!
 要支援者の介護保険はずし・サービス低下やめよ

●震災のどさくさにまぎれて介護保険改悪法を強行

6月15日、参院本会議で介護保険法改定案が賛成多数で可決、成立しました。日本共産党は、「要支援」と認定された高齢者への介護サービスを、市町村の判断で安上がりのサービスに置き換えることを可能にすることや、医療の専門職が行うべき医療的ケアの介護職員おしつけ等問題点があることから反対しました。

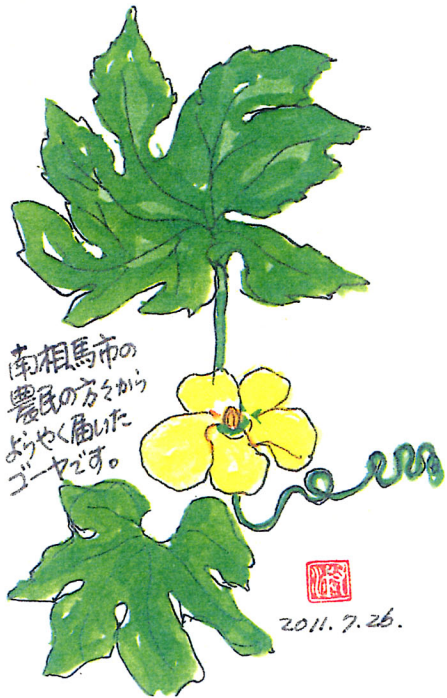
●わずかな審議時間で民主・自民・公明・みんなの党が国会をおし切る

法案では当初、要支援の高齢者を一律に介護保険からはずすことを検討していましたが、高齢者や介護事業者の批判をかわすため、自治体判断にゆだねられました。しかし圧倒的な介護・医療関係者に法案の手直し経過が知らされないまま、衆議院で10時間、参議院で8時間の短時間審議で採決され、疑問や不安の声が広がっています。(写真は介護保険改悪反対で運動している桐ヶ丘健康友の会総会)

●北区は「要支援は保険からはずさない」と言明

そねはじめ前都議が、北区の介護保険担当者に問い合わせたところ「法が実施されても要支援者が保険からはずされることはありません」と言明。自治体の独自メニューで行う「日常生活支援総合事業(総合事業)」は、介護認定の非該当者を対象にするとしています。

新法は、秋以降に出される政府の要綱を待つ具体的な内容が検討されますが、国が一貫して医療や介護の財政負担から逃れるために、自治体や国民に負担や犠牲の転嫁をねらっていることに今後も警戒が必要です。



南相馬市の
 農民の方から
 よやく届いた
 グーヤです。

2011.7.26.

側溝など高い放射線量

共産党都議団 都内東部364カ所を調査



東京都葛飾区の公園で放射線量を測定する日本共産党都議団

日本共産党
都議団が
都内東部地域
364カ所
新たに調査

北区内の測定は
(北区が実施したもの)
結果を集約中
です。
北区議団は
区民の方からの要請
にお応えして、独自の
測定もしています。

た箇所は地上1階の室外で22カ所、地上5メートルは90カ所ありました。

最も高い放射線量は葛飾区新宿の団地内街路の地表面で毎時1・87マイクロシーベルトでした。

日本共産党東京都議団は25日、都内東部地域の足立、葛飾、江戸川の3区で実施した放射線量調査結果を発表しました。同じ区域でも公園の中央部では放射線量が低いものの、植え込みや側溝などは場所によって数値が高い「ホットスポット」があることがわかりました。

測定調査は4～16日にかけて専門家の協力を得て実施。5月におこなった都内全域での測定の結果、比較的高い放射線量が測定された足立区、葛飾区、江戸川区について、地上1階および5メートルの地表面で159地点、延べ364カ所の空中放射線量を測定しました。

毎日0・26マイクロシーベルトを超えています。福祉保健局の杉村栄一局長は「調査結果も含めて、申し入れの趣旨について所轄部に伝えたい。区市町村から都に協力要請があれば、できるだけ支援したい」と答えました。

2次補正予算が成立 参院本会議

2011年度第2次補正予算案が25日、参院本会議で採決され、与党と自民、公明など日本共産

東電救済認められない

市田書記局長 2次補正を批判

日本共産党の市田忠義書記局長は25日、国会内で記者会見し、同日参院で可決・成立した第2次補正予算に日本共産党が反対したことについて、「東京電力を救済するため、何れでも国民の税金を投入することができるスキーム(枠組み)のため、最大の理由だ」と述べました。

市田氏は、「賠償は、東電と関連企業、メガバンクなどに責任を負わせるべきなのに、電気料金への上乗せと国民負担によって東電を救済するものになっている」と批判しました。



記者会見する市田忠義書記局長(25日、国会内)

が、審議中の原子力損害賠償支援機構法案に基づき、東電を救済する機構設立のため出資金を計上し、賠償資金として交付、国債発行限度額2兆円、政府保証枠2兆円を設定していることを指摘。「これは何れでも資金援助し、東電を債務超過にさせないという救済スキームだ」と強調しました。

の負担は税金投入などで国民に肩代わりさせようとしており、反対だ」と表明。その上「被災者生活支援金の限度額引き上げに踏み込まないなど被災者支援はあまりに不十分だ」と強調しました。

記念講演 志位和夫委員長

日本共産党創立89周年

● あいさつ
党若手県委員長 菅原 則勝さん

● 記念講演 志位和夫委員長

● とき 8月1日(月)
午後6時半開会(同6時開場)

● ところ 日本青年館